

幌加内町平成31年予算審査特別委員会 第1日目

平成31年3月13日(水曜日)

○出席委員(8名)

委員長	8番	齋藤雅文君	副委員長	5番	小関和明君
副委員長	6番	春名久士君		1番	稲見隆浩君
	2番	中村雅義君		3番	中川秀雄君
	4番	市村裕一君		9番	小川雅昭君

○欠席委員(1名)

7番 田丸利博君

○出席説明員

町長	細川雅弘君
教育長	小野田倫久君
総務課長	大野克彦君
産業課長	村上雅之君
建設課長	宮田直樹君
住民課長	竹谷浩昌君
保健福祉課長	中河滋登君
診療所事務長	蔵前裕幸君
保健福祉課主幹	山本めぐみ君
住民課補佐	岩本美佐江君
地域振興室長	山本久稔君
農業委員会事務局次長	柏原潤君
総務課主幹	三浦依理子君
総務課主幹	椿英万君
総務課副主幹	加藤美幸君
総務課副主幹	安藝修君
総務課防災係長	堀川剛史君
総務課財政係長	菊地宏君
産業課主幹	新江和夫君

産業課副主幹	松	岡	剛	君
産業課 農政係長	野	村	道宏	君
建設課主幹	山	田	英樹	君
建設課主幹	藤	田	夏樹	君
建設課副主幹	塚	田	裕紀	君
建設課主事	梅	津	孔希	君
保健福祉課 副主幹	伊	藤	理加	君
保健福祉課 介護保険係長	相	澤	雅彦	君
地域振興室 主幹	野	口	卓也	君
地域振興室 企画調整係長	伊	藤	宗徳	君
教育次長	清	原	吉典	君
学務課長	内	山	涉	君
社会教育課長	加	藤	洋恵	君
学校給食 センター次長	三	上	賢逸	君
幌加内高等 学校事務長	高	田	美穂	君

○出席事務局職員

事務局長	加	藤	誠一	君
書記	岡	田	由美	君

開会 午後 1時29分

◎開会・開議の宣告

○委員長（齋藤雅文君） ご苦労さまです。ただいまの委員数は8名であります。定足数に達しておりますので、直ちに予算審査特別委員会を開きます。

これより平成31年度幌加内町各会計予算の審議を行います。審議に先立ちまして一言ご挨拶を申し上げたいと思います。委員各位並びに説明員の皆様におかれましては、本会議でお疲れのところご出席をいただき、厚くお礼を申し上げます。さきの本会議において予算審査特別委員会が設置され、私が委員長としての重責を担うこととなりました。議会は議会の立場で広く客観的に、町民の負託に応えられるよう政策の内容、費用対効果等、十分に論議を重ねてまいりたいと思います。ただし、本会議の冒頭で町長の予算編成方針にもありましたように、本定例会提出の予算は骨格予算となっておりますので、必要最低限の予算になっておりますことを念頭にご審議をお願い申し上げます。

能率的かつ効果的な委員会運営がなされますよう委員各位のご理解と皆様のご協力をお願いいたしまして、ご挨拶といたします。

◎議案第13号～議案第19号

○委員長（齋藤雅文君） それでは、これから付託を受けました議案第13号から議案第19号までの平成31年度各会計予算の件を議題といたします。

審議に入る前に、特別委員会の運営方法について事務局より説明をさせます。

○事務局長（加藤誠一君） （予算審査特別委員会運営方法朗読、記載省略）

○委員長（齋藤雅文君） 以上で説明を終わります。

お諮りいたします。以上の審査方法により直ちに審査を行いたいと思います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 異議なしと認め、そのように取り進めることにいたします。

暫時休憩いたします。

休憩 午後 1時36分

再開 午後 1時37分

○委員長（齋藤雅文君） それでは、休憩を閉じて、これから審査に入ります。

説明員の皆様に申し上げます。今ほども説明がありましたように、新規の部分、昨年と変わる部分を中心に説明を行っていただき、説明は簡潔明瞭をお願いいたします。

では、早速会議に入ります。

これから議案第13号 平成31年度幌加内町一般会計予算の説明及び質疑を行います。歳出の1款議会費、2款総務費を一括して審査を行います。

説明をお願いいたします。

総務課長。

○総務課長（大野克彦君） それでは、1款、2款についてご説明いたします。

予算書の72ページ、73ページをお願いいたします。1款1項1目議会費、本年度3,762万7,000円、比較8万2,000円の減となっております。この目につきましては、3節、議員期末手当、これが昨年4.4月分でしたが、新年度につきましては4.45月分と0.05月分増額、8万4,000円の増額となっております。この目については以上でございます。

次のページをお願いいたします。2款1項1目一般管理費、本年度6,710万4,000円、比較112万3,000円の減額となっております。4節共済費、社会保険料で前年より142万6,000円の増額となっておりますけれども、ここにつきましては、定年後の方2名の再任用を予定しているのと、大山医師分が社会保険料となるため、増額となっております。このページについては以上でございます。次のページをお願いいたします。18節備品購入費で昨年より348万7,000円の減額となっております。これにつきましては、昨年AED7台分があったため、今年は減額となっております。この目については以上でございます。

次のページをお願いいたします。3目文書広報費、本年度248万3,000円、20万円の増額となっております。増額の要因といたしましては、11節、広報印刷費で21万6,000円の増額となっております。これにつきましては、3年に1度各戸に配布します広報を綴じるファイルをつくるため、増額となっております。この目は以上でございます。

4目財政管理事務運営費、本年度2,055万6,000円、比較で604万円の増額であります。この目につきましては、ふるさと納税の返礼品等にかかわる経費を計上してございますけれども、ふるさと納税の支出については3,000万円を見込み、経費を計上してございます。次のページをお願いいたします。謝礼品のふるさと納税謝品といたしまして、予算上は50%ということで1,500万円の計上をしているところでございます。この目については以上でございます。

5目財産管理費、本年度2,659万8,000円、16万4,000円の減額となっております。ここにつきましては、総務課管理の施設、町有地の維持管理費、それから役場全体の建物、それから車両の保険の代金を計上してございます。主な変更点につきましては、11節、特別修繕料で132万9,000円計上してございますけれども、今年につきましては添牛内賃貸住宅2棟3戸、沼牛賃貸住宅3棟3戸の屋根塗装の経費となっております。それから、下ほどの18節備品購入費では、公用車購入費といたしまして建設課の公用車1台分を計上しているところでございます。この目については以上でございます。

続きまして、82ページ、83ページをお願いいたします。6目基金積立金、3,67

6万8,000円、3,052万1,000円の増額であります。増額につきましては、基金積立金の一番下にあります、そば産地活性化振興基金で3,400万円の増額となっております。これにつきましては、基金を創設し、計画的に積み立てしておりますけれども、過疎債のソフト分を財源とし、積み立てるものでございます。

続きまして、7目支所及び出張所費、本年度251万5,000円、比較30万9,000円の増額であります。主なものとしたしましては、18節備品購入費、庁舎備品購入費でシュレッダー1台を更新するための経費17万3,000円が増額となっております。

次のページをお願いいたします。9目地域振興費、本年度3,750万6,000円、比較55万5,000円の増額となっております。この目につきましては総務課のほか、地域振興室、住民課もありますが、総務課関係分につきましては自治区、簡易郵便局に関わるものですが、これらにつきましては前年同額となっておりますので、省略させていただきます。

下の10目地域情報通信費、本年度2,542万5,000円、7,081万8,000円の減額であります。次のページをお願いいたします。概要説明でもありましたけれども、前年度はIP端末機の更新委託料といたしまして8,113万円があったため、この分が減となったことが主な要因となっております。あと、新規なものとしたしましては、14節、クラウド・アプリ利用料といたしまして799万4,000円の増額が新規となっております。これにつきましては、新たに更新しましたIPに関わる利用料となっております。この目については以上でございます。

11目総合行政情報システム費、本年度5,030万4,000円、456万9,000円の減額となっております。ここにつきましては、概要説明の負担行為で申し上げましたけれども、職員が使用しております業務用のパソコン、サーバー、それからシステム類が26年度に購入し、5年が経過、またウィンドウズ7が使用不可となることから、31年で更新を予定しているものでございます。現在のところ110台のパソコン、それからサーバー4台等を更新する予定となっております。それから、概要説明でこの購入にあたっては北海道市町村備荒資金組合の資金を借りて購入するというようなことでご説明いたしましたけれども、その部分について若干ご説明させていただきます。まず、市町村備荒資金組合につきましては、昭和30年に設立されまして、北海道の全ての市町村が参加している組織でございます。目的としたしましては、災害に備えるための資金の積み立て、またその積み立てした資金運営管理を行うためということで昭和30年に設立されたものでございます。その中の事業といたしましては、災害時のときに積み立てたお金を取り崩して災害復旧に使うもの、それから災害時の貸付資金です。災害救助法の適用になった市町村については、貸し付けが行えるというような事業があります。そのほかにも、車両譲渡事業、これについては備荒資金組合が一度車両を購入して、それを市町村が譲り受けるというような事業、それからもう一つ、防災資機材譲渡事業、これも防災に関わる備

品ですとか、それから今回購入いたしますパソコン、これらも対象事業となってございます。事業の流れといたしましては、備荒資金組合の方で一度買い入れして、それを市町村が譲り受けて市町村が使用するというような形になります。譲り受けるに当たっては、5年間分割して払っていくというような事業となってございます。今回この事業を本町は利用することといたしまして、今のところ予算段階ですけれども、総額では大体5,819万円程度のパソコン購入代と考えているところでございます。これを一度備荒資金組合の方で購入していただいて、そこから市町村に譲り受けて、その代金を5年間かけて支払っていくというような仕組みになってございます。5年間支払うという約束事になりますので、債務負担行為を設定するというような形で進めたいと考えているところでございます。この目にはないですけれども、各小中学校のパソコンも同様な流れで進めたいと考えているところでございます。そのほか、この目では13節委託料で個別業務システム改良業務委託料、これについては人事、給与、それから税システムを新たに改良するというようなことで359万2,000円の増額となっているところでございます。この目については以上でございます。

続いて、90ページ、91ページをお願いいたします。2項1目税務総務費、本年度296万2,000円、131万円の増額となってございます。これにつきましては、13節委託料で固定資産税標準宅地鑑定評価業務委託料、ここで118万6,000円の増額となってございます。平成33年度に評価替えがありますので、その事前準備のため、不動産鑑定士に依頼する経費となってございます。

次のページをお願いいたします。4項1目選挙管理委員会費、本年度39万2,000円、8万7,000円の減額です。この目は特にございません。

2目知事、道議会議員選挙費、310万6,000円、25万7,000円の増額であります。これにつきましては、4月7日執行予定の選挙経費となってございます。歳入につきましても、道委託金で267万5,000円の収入を見ているところでございます。支出については特にございません。

次のページをお願いいたします。3目町長、町議会議員選挙費、本年度522万8,000円、同額の皆増となってございます。これにつきましても4月21日執行予定の選挙経費となってございます。そのほか特にございません。

次のページをお願いいたします。96ページ、97ページをお願いいたします。4目参議院議員選挙費、本年度536万3,000円、皆増となってございます。これにつきましては、現在のところ7月執行予定の参議院の執行経費となってございます。歳入につきましては、国からの委託金といたしまして350万円を見ているところでございます。そのほかこの目についても特にございません。

次のページをお願いいたします。5項1目諸統計調査費、本年度90万9,000円、75万2,000円の増額であります。本年度につきましては、経済センサス、農業センサスの実施により経費の増額となってございます。主なものといたしましては、1節、調

査員報酬で57万3,000円の増、それから7節、臨時雇い賃金で6万8,000円の増、これが主な内容となっております。

続きまして、6項1目監査委員費、124万1,000円、前年同額となっております。この目は特にありません。

以上で1款、2款の説明を終わらせていただきます。

○委員長（齋藤雅文君） これから質疑に入ります。

委員各位に申し上げます。質疑は簡潔明瞭に、また一問一答となるようお願いいたします。

それでは、事項別明細書72ページから質疑を受けます。72ページ、73ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 74ページ、75ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 76ページ、77ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 78ページ、79ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 80ページ、81ページについて質疑ありませんか。

中川委員。

○3番（中川秀雄君） ふるさと納税返礼品の予算計上でありますけれども、今年というか、来年度からふるさと納税の制度にのれる自治体も例えば返礼品は3割程度、あるいは返礼品については地場産品に限るとするというような上のお達しがあったと思うのですが、それで今まではたしか4割としていたと思うのですが、そういう国の方からの変更に伴う予算措置なのでしょうか。

○委員長（齋藤雅文君） 総務課長。

○総務課長（大野克彦君） 中川委員言われるように、国からは地場品を使って3割以下というふうに、それは言われておまして、その旨実施する予定であります。先ほど返礼品については5割程度で見ているというのは、30%プラス送料とかもかかるので、その部分も含めた形でいいますと、品物自体は3割ですけれども、それプラス送料がかかるというようなことで、ちょっと多目でありますけれども、5割として返礼品は見ているということでございます。

○委員長（齋藤雅文君） 中川委員。

○3番（中川秀雄君） それで、返礼品が基本的に3割ということありますと、今までより、例えば1万円寄附いただいたら4,000円の物が3,000円になるわけですから、物によっては新たな返礼品の用意といいますか、開発をしなければならぬ面もあると思うのですが、その辺はどのように考えているのでしょうか。

○委員長（齋藤雅文君） 総務課長。

○総務課長（大野克彦君） 簡単に言いましたら今まで4割だったのが3割になったということで、品物としては簡単に言ったら少なくなるというようなことでありますし、若干ですけれども、品物を提供していただく方にご協力いただいて売りの値段を下げてもらうというようなことも経過的にはやったことがあるのですけれども、これからにつきましては基本的には3割というようなことで、それが業者の方で負担いただく場合もありますし、できない場合は品物が減るというようなことで対応していきたいと考えています。

○委員長（齋藤雅文君） ほかに80ページ、81ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 82ページ、83ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 84ページ、85ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 86ページ、87ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 90ページ、91ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 92ページ、93ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 94ページ、95ページについて質疑を受けます。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 96ページ、97ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 98ページ、99ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 1款、2款全般について質疑を受けます。質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） これで1款、2款の質疑を終わらせていただきます。

それでは次に、9款消防費の説明をお願いいたします。

総務課長。

○総務課長（大野克彦君） それでは、152ページ、153ページをお願いいたします。

9款1項1目消防総務費、本年度1億5,005万7,000円、比較で564万3,000円の減額でございます。19節、深川地区消防組合負担金で減額となつてございますけれども、これにつきましては前年度サイレン塔の撤去工事330万4,000円、それから空気ボンベ、呼吸器等の購入で354万円があつたのが減つたため、減となっているものでございます。

2目災害対策費、本年度444万1,000円、297万3,000円の減であります。ここにつきましてハザードマップの作委託料で減額、230万2,000円、それからJアラートの機械更新で326万2,000円が減となったことが大きなものとなってございます。また、新たなものとしたしましては、1節、地域防災アドバイザー報酬で6万8,000円の増でありますけれども、防災計画等の見直しを図るときにアドバイザーにご協力をいただくため、新規としたものでございます。あと、15節工事請負費におきまして、幌加内老人福祉寮給水管新設工事、次の保健福祉総合センター水道直圧切り替え工事につきましては、昨年の停電のときに使用が止まったというようなことがありまして、それらを改善するために工事するものでございます。

9款については以上でございます。

○委員長（齋藤雅文君） それでは、説明が終わりましたので、152ページから質疑を受けます。152ページ、153ページについて質疑ありませんか。9款の質疑を受けますが、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 9款の質疑を終わらせていただきます。

次に、12款公債費、13款諸支出金、14款職員費、15款予備費を一括して審査を行います。

説明を願います。

総務課長。

○総務課長（大野克彦君） それでは、184ページ、185ページをお願いいたします。12款1項1目元金、本年度5億1,837万円、比較1億856万4,000円の増額でございます。これにつきましては、概要説明でも申し上げましたけれども、27年度に借り入れした診療所テルケアの整備に関わる過疎債の元金が開始されたため、増額となっております。

2目利子、本年度1,873万6,000円、837万5,000円の減額でございます。ここについては特にございません。

次のページをお願いいたします。13款1項1目土地取得費、本年度100万円、増減ありません。この目についても特にございません。

次のページをお願いいたします。14款1項1目職員給与費、本年度6億2,257万6,000円、比較3,003万6,000円の減額でございます。ここにつきましては、2節、特別職給料で副町長の給料が一月分減額、58万円の減額となっております。それ以外、職員関係につきましては193ページを見ていただきたいと思います。193ページにそれぞれ職員給与の内訳の増減が載っております。給料といたしましては、前年比1,361万4,000円の減、手当で1,259万6,000円の減、共済費等で592万2,000円の減となっております。これら給料、手当の増減の内訳につきましては、次のページ、194ページをご覧いただきたいと思います。給料につきましては、そ

れぞれ給与改定に伴う増額分といたしまして328万4,000円となっております。これにつきましては、ベースアップに関わる増額となっております。そのほか、昇格、昇給に係る増額分といたしまして183万1,000円となっております。その他の増減分といたしましては、退職による減3,907万6,000円、それから採用による増2,034万7,000円となっております。退職については8名、採用については4名ということでカウントされているところでございます。職員の全体の人数といたしましては、前年度は74人分でありましたけれども、今年度については70人分と計上しているところでございます。また、そのほかに再任用職員2名、それから任期つき職員の短時間での採用1名分を見ているところでございます。職員手当につきましては、それぞれ期末手当の改正に伴う増額分といたしまして120万4,000円となっております。前年より0.05月分期末、勤勉手当が増額となっているところでございます。その他の増減分については、それぞれ人数等が変更がありましたので、増減をさせておりますけれども、全体といたしまして1,380万円の減となっているところでございます。職員費の説明については以上でございます。

元に戻っていただきまして、190ページ、191ページお願いいたします。15款1項1目予備費、本年度500万円、増減ございません。この目につきましても特にございません。

以上で説明を終わります。

○委員長（齋藤雅文君） 説明が終わりましたので、事項別明細書184ページから質疑を受けます。184ページ、185ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 186ページ、187ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 188ページ、189ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 190ページ、191ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 12款から15款全般について質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 12款から15款までに関する質疑を終わらせていただきます。

以上で総務課所管の質疑を終了いたします。

暫時休憩いたします。

休憩 午後 2時09分

再開 午後 2時13分

○委員長（齋藤雅文君） それでは、休憩を閉じて審査を続けます。

地域振興室所管の2款総務費の説明をお願いいたします。

地域振興室長。

○地域振興室長（山本久稔君） それでは、地域振興室所管分の説明を申し上げます。ページにしますと76ページ、77ページになります。

76ページ、77ページをお願いします。2款1項2目企画費になります。本年度予算4,059万6,000円、前年比マイナス2,089万3,000円となります。この減額の主な要因としましては、民間賃貸住宅の補助金がマイナス2,000万円、夢・人・郷づくり補助金がマイナス20万円となっております。それでは、節の方に参りたいと思います。77ページになります。まず、1節報酬です。10万4,000円の予算額になっております。ここに5件ほど各委員報酬がございます。説明については特にございません。次、9節旅費61万6,000円でございます。これにつきましても、費用弁償、普通旅費、特別旅費ありますけれども、特段説明するものではありません。次に、11節需用費131万7,000円になります。ここにある経費につきましては、お試し住宅及びほろみん号の運行に係る経費が入っております。細節、消耗品以下についての説明は特にございません。次のページをお願いいたします。79ページになりますが、12節役務費1万5,000円でございます。洗濯料1万5,000円、全部お試し住宅に係る経費でございます。13節委託料3,563万6,000円でございます。JR跡地積測量業務委託料3,000万円でございます。これにつきましては、深名線跡地の用地処理を平成28年から行ってございます。来年度31年度で一応事業終了という見込みで実施したいということでございます。次、お試し住宅管理業務委託料38万円につきましては、入居前後の清掃、あと周りの草刈り、屋根雪の除雪等の経費でございます。次の除雪業務委託料10万円でございますが、これもお試し住宅に係る経費でございます。ほろみん号運行業務委託料515万6,000円でございますが、士別ハイヤーに運行委託を頼んでいる分の経費でございます。続きまして、14節使用料及び賃借料でございます。105万円であります。車借り上げ料、ほろみん号のリース104万7,000円でございます。国有地借り上げ料3,000円でございますが、これにつきましては雨竜川第3鉄橋、ポンコタンにあるところですが、あれの地先の国有林の土地を借りておりますので、この経費となっております。19節負担金、補助及び交付金185万8,000円でございます。上の全国山村振興連盟負担金4万5,000円から下から4つ目の全国積雪寒冷地帯振興協議会負担金2,000円までの13件につきましては、特に説明するものではありません。下から3つ目になります。企業立地促進補助金でございます。これにつきましては、平成24年度に発生しました利子補給1件がありまして、これが2万円ということになっております。平成31年度で終了を迎えます。夢・人・郷づくり事業補助金100万円につきましては、実績に伴いまして20万円の減額としております。諸会議負担金3万円については特にございません。この目につきまして、お試し住宅に係る経費総額として71万円、

ほろみん号の総額につきましては721万5,000円ということになってございます。ほろみん号の721万5,000円の財源でございますけれども、後ほど歳入で出てきますけれども、道の補助金、地域づくり総合交付金、これが350万円、そのほか使用料及び券の販売、これで104万円を財源として見ておりまして、この財源の合計が454万円ということになっております。残りの267万5,000円については、一般財源から補填するということになってございます。2目企画費については以上です。

続きまして、次のページお願いいたします。80ページ、81ページの2款1項5目財産管理費になりますが、この中に地域振興室所管の公用車1台が入っております。その分だけ説明させていただきます。11節需用費になります。地域振興室の管轄の公用車1台ということで、平成30年7月、昨年7月です。このときに納車しております。このうち、消耗品85万3,000円のうち1万円、燃料費265万1,000円のうち21万5,000円、修繕料196万7,000円のうち3万円、地域振興室分としまして25万5,000円の経費をここに計上してございます。5目、以上とさせていただきます。

続きまして、88ページ、89ページお願いいたします。2款1項13目地方創生事業費になります。本年度予算3,468万4,000円、前年比較がマイナス835万6,000円でございます。そばの里大使とそばの里アドバイザーの講師謝礼としましてマイナス260万円、あとアンテナショップ、共同販売拠点の出展料としましてマイナス563万4,000円、地方創生運営事業費としてマイナス100万円、このあたりが減額の主な要因となってございます。節の方に参りたいと思います。89ページになりますが、まず1節報酬でございます。15万3,000円につきましては、3件あります。特に説明することはありません。7節賃金1,862万円でございます。臨時雇い賃金としまして1,862万円、これにつきましては地域おこし協力隊8名分を予算計上してございます。この8名分の賃金ということでございます。8節報償費79万6,000円でございます。物産品宣伝費25万6,000円、臨時職員年末報償金54万円でございますが、この年末報償金につきましては、地域おこし協力隊のうち、技術センター3名分の報償金として54万円計上してございます。9節旅費211万7,000円でございます。これにつきましては、費用弁償9万3,000円ですが、これは1節に係る経費の費用弁償と地域おこし協力隊の通勤旅費8万5,000円が入ってございます。普通旅費174万円でございますが、職員分が12万8,000円、地域おこし協力隊分が161万2,000円でございます。特別旅費につきましては、職員分が13万4,000円、地域おこし協力隊が15万円、これにつきましては地域おこし協力隊の募集に係る旅費ということで15万円見てございます。11節需用費169万5,000円でございます。この169万5,000円のうちの165万円、これが地域おこし協力隊に係る経費ということでございます。消耗品以下、説明は特にございません。12節役務費115万5,000円でございます。広告料110万円になりますが、これにつきましては地域おこし協力隊の募集に係る経費の広告料として計上してございます。洗濯料5万5,000円については、

ほんろみん着ぐるみの洗濯料となっております。13節委託料20万円、これにつきましては地域おこし協力隊の活動業務委託料ということでございます。これにつきましては、北海道のふるさと回帰センターの方では隊員の活動サポート、または起業と自立のサポート事業というのを行っております。これの経費として計上してございます。次のページお願いいたします。90ページ、91ページになります。14節使用料及び賃借料になります。612万9,000円でございます。車借り上げ料278万円ですが、地域おこし協力隊のリース代としまして3台分です。これの予算でございます。駐車場使用料3万4,000円、全て地域おこし協力隊分です。借家料331万5,000円、これにつきましても地域おこし協力隊7名分の借家料となっております。18節備品購入費351万6,000円、全て地域おこし協力隊の備品購入としまして、主に入居時の備品購入として計上してございます。19節負担金、補助及び交付金30万3,000円でございます。そば普及助成事業補助金10万5,000円です。7月31日に行っています「そばの日」の事業の予算でございます。諸会議負担金19万8,000円ですが、これについては特にございませぬ。地域おこし協力隊につきましては、8名分として予算計上してございます。この8名分の合計としまして3,377万7,000円ということでございます。この財源ですけれども、特別交付税の措置が1人当たり400万円ということでございます。そのほかに募集に係る活動費が200万円ということでございまして、ほぼ特別交付税の対象となり得るものということで予算措置をしてございます。

2款、以上です。

○委員長（齋藤雅文君） 説明が終わりました。

それでは、76ページに戻ってください。それでは、事項別明細書76ページ、77ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 78ページ、79ページについて質疑ありませんか。

中川委員。

○3番（中川秀雄君） 地域おこし協力隊について前段の勉強会でも若干聞いたのですが、8名分ということで1,800万円ほどとっておりますが、このうち既に着任されている方々が何名で、どの部署にいて、これからの募集予定もあると言っておりましたけれども、それが何人で、どの部署を予定しているのかお伺いします。

○委員長（齋藤雅文君） 地域振興室長。

○地域振興室長（山本久稔君） 地域おこし協力隊の内訳かと思います。

8名分ということで、まず地域振興室所管のそば振興としましてそばの活性化協議会の方に出席しておりますけれども、この方が1名ということで、既に在籍してございます。次に、保健福祉課の所管としまして社会福祉協議会の方に1名ということで、この方も既に在籍してございます。ほかの6名につきましては産業課所管分ということになりますけれども、この6名のうち、観光協会1名、公社2名、技術センター3名という内訳でござ

います。そのうち公社2名につきましては、既に働いてもらっているという状況でございます。観光協会及び技術センターについては今募集中ということでございます。

以上です。

○委員長（齋藤雅文君） ほかに78ページ、79ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 80ページ、81ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 少し飛びます。88ページ、89ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 90ページ、91ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 2款の全体について質疑を申し受けます。2款全体について質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） これで2款の質疑を終わらせていただきます。

では次に、6款農林水産業費の説明をお願いいたします。

地域振興室長。

○地域振興室長（山本久稔君） それでは、引き続き6款の方に参りたいと思います。

128ページ、129ページお願いします。128ページになります。6款1項3目農業振興費の中に地域振興室分ということでございます。129ページの方に参りまして、19節負担金、補助及び交付金ということでございます。このうちの上から3つ、町開発促進期成会負担金31万円、全国麺類文化地域間交流推進協議会負担金10万円、社団法人日本蕎麦協会年会費5万円、この3つに加えまして、19節の一番下になります。そば活性化協議会助成金81万円、この4件になります。例年同様でございますので、説明は特にございませぬ。

6款、以上です。

○委員長（齋藤雅文君） 説明が終わりました。

それでは、事項別明細書128ページ、129ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 6款全体にかかわりますが、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 質疑を終わらせていただきます。

それでは次に、7款商工費の説明をお願いいたします。

地域振興室長。

○地域振興室長（山本久稔君） それでは、7款に参ります。

142ページ、143ページお願いします。142ページ、7款1項2目観光費の中でございます。143ページになります。19節負担金、補助及び交付金の中で1件ございます。下から3つ目のイベント協賛交付金420万円でございますが、この中に新そば祭りの補助金としまして360万円、また幌加内町のフォトコンテストの経費として30万円、合わせて390万円になりますが、これを見てございます。

7款、以上です。

○委員長（齋藤雅文君） それでは、説明終わりましたので、142ページ、143ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） これをもちまして7款の質疑を終わらせていただきます。

これをもちまして地域振興室所管の質疑を終了させていただきます。

暫時休憩いたします。

休憩 午後 2時31分

再開 午後 2時41分

○委員長（齋藤雅文君） それでは、休憩を閉じて審査を続けます。

住民課所管の2款総務費、3款民生費の一括説明をお願いいたします。

住民課長。

○住民課長（竹谷浩昌君） それでは、2款1項5目、80ページお聞きください。2款1項5目財産管理費になります。財産管理費につきましては、住民課以外の予算も含まれておりますので、住民課関係分についてご説明いたします。住民課分の予算総額、本年度217万円、前年比125万5,000円の増となっております。11節需用費の一番下段になりますが、特別修繕料132万9,000円でありますけれども、これにつきましては町有賃貸住宅屋根塗装で添牛内の賃貸住宅2棟3戸、62万6,400円、それから沼牛賃貸住宅3棟3戸、70万2,000円の内訳となっております。これについては、前回22年に実施して、また継続でやるということになっております。この目につきましては以上でございます。

次に、84ページをお聞きください。9目地域振興費でございます。この目につきましても住民課関係以外の予算が含まれておりまして、住民課関係分の予算総額になりますけれども、本年度1,769万9,000円、前年比59万2,000円の増となっております。14節使用料及び賃借料の2段目、路線バス回数券330万円ありますが、これにつきましては本年31年3月、今月ですけれども、路線バス利用促進に係る助成要綱、これに基づいて助成をしておりますけれども、この5年間の助成期限がやってまいります。しかし、JRの利用促進、それから地域住民の交通手段の確保等、また住民の負担軽減を図ることから、この助成期限をさらに5年間延長することといたしまして、本年度につき

ましては一昨年(2019年)の9月からのシルバーのお出かけパスの廃止に伴いまして販売数量も増加していることから、1,100冊増の3,300冊分を予算計上したところでございます。次に、19節負担金、補助及び交付金の上から2段目、冬期生活除雪支援事業補助金940万円でありますけれども、これにつきましては昨年度と同額の個人の上限額40万円を20件、それから委託に係る上限額70万円を2件分見込みまして予算を計上したところでございます。ここ数年大雪の影響もありまして需要は伸びておりますけれども、当初ではこの予算を計上させていただきまして、予算不足が生じた場合につきましては補正予算で適宜対応していきたいと考えておりますので、ご理解をいただきたいと存じます。次に、一番下段になりますが、路線バス定期券購入助成金119万8,000円でありますけれども、これにつきましては今ほど路線バスの利用促進に係る助成要綱の関係で申しましたけれども、これに基づいて助成しております。本年度につきましては、深川方面22名、名寄方面がなしということで予算を計上したところでございます。この目につきましては以上でございます。

次に、88ページをお願いいたします。12目交通安全対策費、予算額235万2,000円、前年比65万8,000円の減であります。15節工事請負費で交通安全施設整備費100万円ありますけれども、これは毎年計上しておりますが、道路の区画線工事で、本年度も実施することとで予算を計上したところでございます。次に、19節負担金、補助及び交付金の下から2段目、チャイルドシート等購入費助成金10万円ありますが、これにつきましても本年3月でこの助成の要綱が5年間の助成期限となりますけれども、今回継続するというので、幼児の交通安全対策、それから子育て支援という観点から5年間延長することといたしました。本年につきましては、昨年度同額の上限額2万円になっておりますが、5件分を計上したところでございます。この目につきましては以上となります。

次に、92ページをお願いいたします。3項1目戸籍住民登録費、予算額40万円、前年比8,000円の増となっております。この目については特に説明はございません。

以上で2款の説明を終わります。次に3款の説明に入りますので、100ページをお開きいただきたいと思います。3款1項1目社会福祉総務費、このうち住民課関係分でございます。住民課分の予算総額1,779万5,000円、前年比35万5,000円の増となっております。19節負担金、補助及び交付金の中ほどになります。防犯灯設置費補助金63万9,000円、前年比74万9,000円の減となっております。本年度につきましては、4自治区に対しまして新規1基、それから更新21基分を予算計上しております。補助率については、8割補助ということになっております。このページは特にございませんので、次のページをお開きください。28節、国民健康保険特別会計繰出金1,500万1,000円ありますが、これにつきましては事務費643万8,000円、保険基盤安定軽減分でございますが、408万円、保険基盤安定支援分でございますが、221万円、財政安定化支援事業40万1,000円、出産育児一時金28万円、そ

れから短期人間ドック補助金100万円、単独事業費の関係で59万2,000円の内訳となっているところでございます。この目については以上であります。

次に、106ページをお願いいたします。4目国民年金費、予算額1万円、前年比5,000円の減となっております。この目については特に説明はございません。

次に、5目医療給付費、予算額1,017万8,000円、前年比244万9,000円の増となっております。20節扶助費、重度心身障害者医療費554万4,000円がありますけれども、これにつきましては昨年9月までの実績をもとに予算計上しております。前年比211万2,000円の増となったところでございます。次のひとり親家庭等医療費46万円につきましても9月までの実績、これをもとに前年同額としたところでございます。次の乳幼児等医療費でございます。387万4,000円につきましても昨年9月までの実績、これらをもとに前年比44万8,000円の増として予算を計上したところでございます。この目については説明は以上となります。

次に、6目後期高齢者医療費、予算額3,571万5,000円、前年比251万8,000円の減となっております。19節、療養給付費負担金2,427万8,000円がありますが、前年比162万1,000円の減となっております。これにつきましては、後期高齢者への給付見込みの12分の1、これを一般会計で負担するものでございますので、広域連合から通知された額を予算計上したところでございます。次の28節、後期高齢者医療特別会計繰出金1,143万7,000円がありますけれども、前年比89万7,000円の減となっております。この内訳につきましては、事務費で22万6,000円、健診事業分で47万9,000円、後期高齢者医療広域連合事務費分で173万4,000円、保険基盤安定分で899万8,000円の内訳となっております。

以上で2款、3款の説明を終わらせていただきます。よろしくをお願いいたします。

○委員長（齋藤雅文君） 説明が終わりました。

事項別明細書80ページに戻ってください。80ページ、81ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 84ページ、85ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 88ページ、89ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 92ページ、93ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 100ページ、101ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 102ページ、103ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 106ページ、107ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 2款、3款全般について質疑を受けます。全般について質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） これで2款、3款の質疑を終わらせていただきます。

次に、4款衛生費の説明をお願いいたします。

住民課長。

○住民課長（竹谷浩昌君） それでは、衛生費の4款1項4目診療所費、116ページをお開きください。4目診療所費、このうち住民課の関係分についてご説明を申し上げます。住民課分の予算総額、本年度87万2,000円、前年比7万4,000円の増となっております。この目につきましては、患者輸送車、いわゆる住民バスの経費を予算計上しております。その他説明は特にございませぬ。

次に、5目の説明いたしますので、118ページをお願いいたします。5目環境衛生費、予算額814万6,000円、前年比89万2,000円の増であります。次のページ、120ページをお開きください。19節の2段目、不良空き建築物等撤去促進事業補助金250万円でありますけれども、これは補助金の財源として社会資本整備総合交付金を受けておりますが、道の指導に基づきまして、今までありました廃屋撤去促進事業補助金の交付要綱、これを不良空き建築物等撤去促進事業補助金交付規則に30年度から変えております。昨年度の予算の編成のときには名称が変更できず、今回31年度から補助金の名称を予算書では変更させていただいております。補助金の名称は改めておりますけれども、補助金の内容等については今までの廃屋撤去促進事業補助金と同様になっております。平成30年度は、29年度からの大雪の影響もございまして13件の補助実績となっております。本年度につきましては、例年同様に5件分、50万円の5件分になりますけれども、250万円を予算計上したところでございます。新年度明けまして要望を取りまとめますけれども、要望の関係で予算不足、これが生じた場合につきましては適宜補正予算にて対応していきたいと考えておりますので、よろしく願いいたしたいと思っております。この目の説明については以上でございませぬ。

次に、2項1目塵芥処理費、予算額9,457万1,000円、前年比2,691万1,000円の増となっております。13節委託料の1段目、一般廃棄物処理基本計画作成委託料22万円でありますけれども、これにつきましては平成27年度に策定をしておりますけれども、この計画の中に生活排水処理基本計画という項目がございませぬ。ご案内のとおり、平成32年度から本町のし尿処理、北空知衛生センターから士別市の方へ移管するというに伴いまして、これらの一部変更を行わなければなりません。その業務委託料となっております。次のページをお開きください。13節委託料の上から4段目になりますが、最終処分場地質調査業務委託料565万4,000円、次の同じく処分場の埋立地

造成工事实施設業務委託料2,638万9,000円、それから浸出水処理施設建築工事实施設業務委託料583万円、次の最終処分場設置届け出等作成業務委託料828万3,000円、それから次の工事請負費で最終処分場浸出水処理施設機械設備工事1,859万3,000円、これらにつきましては町長の予算編成方針でも述べておりますけれども、平成31年度から33年度の3カ年かけて、27年度から準備を進めてきております最終処分場の次期施設、これらの関係予算で本年度の今申し上げた予算総額が6,474万9,000円となっております。次期施設の本年度30年度で基本設計を行いましたけれども、それらに基づいて予算を計上したところでございますが、次期施設についての概要でございますけれども、埋め立て容量で3,712立米、それから埋め立て面積で1,830平米ということで、平成34年4月の供用開始を予定し、現在適宜進めているところでございます。

この関係につきましては、7ページに戻っていただきたいと思っておりますけれども、3カ年の継続費ということで内訳を載せております。申しわけありません。7ページをお開きいただきたいと存じます。第4表ということで、継続費ということで3カ年の事業をまとめております。今ほど申しました平成31年度の年割額で6,474万9,000円、この財源としては国からの交付金、3分の1以内ということで1,611万1,000円、それから地方債ということで全体の85%を見込んでおりますけれども、4,130万円、一般財源ということで733万8,000円ということで表にまとめておりますが、地方債につきましては一応交付税バックということで50%ということになる予定でございますので、31年度の実質町負担2,798万8,000円という予定をしております。以下、32年度、年割で5億3,067万2,000円、内訳はこのようになっております。平成33年度、最終年度ですけれども、2億1,641万1,000円ということで、総額8億1,183万2,000円ということになります。合計額で申し上げますけれども、このうち国からの交付金が一応見込みで1億9,965万2,000円、地方債で5億2,020万円、一般財源9,198万円となっておりますが、先ほどと同じように交付税バックを計算しますと実質町負担の額でございますが、3億5,206万円ということで、この8億円のうち43.4%の負担というのが実質予定になるというような形になります。現在基本設計による事業費でございますので、31年度で実施設計を行い、この金額については多少増減があろうかと思っておりますので、ご理解をいただきたいと思っております。

町長の予算編成方針のときに申し上げましたけれども、この交付金、当初32、33と事業を組んでおりましたが、国の交付金の予算が33年度非常に厳しいということで、1年前倒しで3カ年事業にして、平成32年度に交付金を多くいただけるように有利になるようにということで一応3カ年事業に変更しまして、平成32年度は工事費で80%のボリュームを持ってきております。最終年度については15%ということで、31年度は5%ということで機械設備の方の発注とか、いろいろな作業をするというような予定でございます。31年度に入りましてこの全体の入札等を行いますけれども、5月の20日の週

に入札を行い、議会の議決案件となりますので、5月27日の週には議会で工事の議決を  
いただいて、事業に入っていくという流れを今のところ予定しておりますので、よろしく  
お願いしたいと思います。

それでは、もとの方に戻ります。123ページをお願いいたします。2目し尿処理費で  
ございます。予算額584万7,000円、前年比18万9,000円の増となっております。  
19節、北空知衛生センター組合負担金308万5,000円でありますけれども、  
前年比11万2,000円の減ということになっております。この負担金の算出につきま  
しては、前年のし尿収集実績によりまして経常経費に掛けて算出されておりました、本年  
度の負担率につきましては3.9%ということになっております。この目の説明は以上と  
なります。

以上で4款の説明を終わります。

○委員長（齋藤雅文君） それでは、説明が終わりました。

116ページに戻ってください。116ページ、117ページについて質疑ありません  
か。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 118ページ、119ページについて質疑を受けます。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 120ページ、121ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 122ページ、123ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 4款全般について質疑を受けます。4款全般について質疑あり  
ませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） これをもちまして4款の質疑を終わります。

それでは、引き続きまして、8款土木費の説明をお願いいたします。

住民課長。

○住民課長（竹谷浩昌君） それでは、148ページをお開きいただきたいと思いま  
す。8款4項1目住宅管理費、住宅管理費につきましては住民課関係以外の予算も含まれてお  
ります。住民課関係分についてご説明いたしますが、住民課関係の予算総額、本年度92  
8万8,000円、前年比438万1,000円の減となっております。この目につきま  
しては特に説明はございません。

次に、2目住宅建設費、予算額1万4,000円、前年比1,191万3,000円の  
減となっております。大きな減となっておりますけれども、公営住宅の解体工事が皆減と  
なったことによる減となっております。この目については説明は以上となります。

以上で8款の説明を終わらせていただきます。よろしくお願いいたします。

○委員長（齋藤雅文君） 説明が終わりました。

事項別明細書 148 ページから質疑を受けます。148 ページ、149 ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 8 款全般にわたって質疑ございませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） これをもちまして 8 款の質疑を終わらせていただきます。

以上で住民課所管の質疑を終わらせていただきます。

#### ◎延会の議決

○委員長（齋藤雅文君） それでは、本日の委員会をこの程度にとどめ、延会としたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） したがって、本日はこれで延会することに決定いたしました。

#### ◎延会の宣告

○委員長（齋藤雅文君） これで本日の委員会を閉じます。

大変ご苦労さまでした。

延会 午後 3 時 08 分